

世帯と人口

(6月1日現在)

|    |          |        |
|----|----------|--------|
| 世帯 | 43,734   | (+ 77) |
| 人口 | 118,795人 | (+ 69) |
| 男  | 60,712人  | (+ 47) |
| 女  | 58,083人  | (+ 22) |

この数値は平成12年国勢調査人口を基に異動人口を加算し集計したものです

# えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

\*この広報は再生紙を使用しています。

▼もぐり橋は、あゆみ橋完成まであった



▶アユ釣り解禁日の河原口周辺



えびな模様…河原口から

# 今も昔も「にぎわう」河原

## 河原口 アラカルト

◎人口(平成13年6月1日現在)  
6,665人[男3,386人・女3,279人]

◎世帯  
2,477世帯

◎面積  
1.29平方キロメートル  
〔市全面積 26.48平方キロメートル〕

◎地名の由来  
相模川と中津川、小鮎川の三川が合流し大きな河口を形成することによるといわれるが、地域の出入口が河原にあるところから起こった地名。

休むことなく悠々と流れ続ける相模川に架かる相模大橋とあゆみ橋。そこから東へ広がる河原口地区は、古くは大山街道と八王子道が交わる地点として、現在ではアユ釣りや、河原でのバーベキュー、サクラの花見などで今も昔も多くの人でにぎわう地区です。

**交通の要・太公望・花見：**

河原口は、昔から川向こうの厚木との連絡口としてかわりをもつ地区でした。明治時代までは「厚木の渡し」と呼ばれ、大山街道を往来する人などが船で相模川を渡る渡船が行き交っていました。明治41年に橋がかげられ移動が容易になりましたが、途中大水や関東大震災などで流失し、何度か橋が架け替えられました。その後、昭和30年に相模大橋が、昭和41年に相模小橋(もぐり橋)あゆみ橋完成で撤去)が、また、平成8年にあゆみ橋がそれぞれ完成し、現在も交通の要所となっています。

地区に沿って流れる相模川は、アユ釣りの名所として、毎年6月1日の解禁日以後、県内外の多くの太公望が訪れます。特に相模川・中津川・小鮎川の三川が合流する地点から下流にかけては、アユがよく釣れる場所として知られています。相模川沿いには、かながわ花の名所100選にも選ばれている「河畔公園」があり、春のサクラの開花シーズンには、多くの花見をする人たちが訪れます。また、8月上旬に開催される花火大会の日にも大勢の見物客でにぎわいます。

過去から現在、そして未来へと歴史の変化を見守ってきた相模川。その水の流れるは絶えることなく、河原口の発展を見続けていくことでしょう。